

平成17年3月24日

各位

会社名 荒川化学工業株式会社
本社所在地 大阪市中央区平野町1丁目3番7号
代表者名 取締役社長 末村 長弘
(コード番号 4968 東証第一部、大証第一部)
問合せ先 常務取締役経営企画室長 中尾 光良
TEL (06)6209-8500(代表)

広西荒川化学工業有限公司への出資比率変更のお知らせ

当社の中国において工場建設中の新生産拠点である、広西荒川化学工業有限公司への出資比率引き上げが決定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 広西荒川化学工業有限公司について

広西荒川化学工業有限公司は、既にお知らせ(平成16年6月21日「中国における合併会社の設立について」)しておりますように、当社、中国広西梧州松脂股份有限公司および三井物産株式会社との合併として中国広西壮族自治区梧州市に設立した生産拠点であり、今年中頃の稼働を目指して工場建設を進めております。

当社は明治9年の創業以来130年に及ぼうとする永きにわたり、ロジン(松脂)関連化学製品(製紙用薬品、印刷インキ・塗料用樹脂、粘着・接着剤用樹脂、合成ゴム重合用乳化剤等)の製造・販売を行っており、その主要原料となるロジンとして主に中国産のガムロジンを使用してきました。中国はガムロジンの世界最大の産地であり、従来は国有企業によってガムロジンの生産が行われていましたが、平成13年のWTO加盟にともない民営の生産工場が台頭するなど自由化が進められております。

このような状況のもと、より安定的なロジンの確保と生松脂からロジンおよびロジン誘導体までを一貫生産することによる効率化と品質の向上を目的として、広西荒川化学工業有限公司の設立にいたしました。なお、広西荒川化学工業有限公司は平成7年に設立した梧州荒川化学工業有限公司から数えて4番目の中国における生産拠点であり、当社の中期5ヵ年経営計画(平成15年4月~平成20年3月)における国際展開の一環として、中国における事業計画を前倒して進めるものであります。

2. 出資比率変更の理由と概要

当社は、中国におけるガムロジン産業の自由化が進むにともない、広西荒川化学工業有限公司における合弁事業としての基盤をより一層強化する必要があると判断し、出資比率の増加を決定いたしました。これにより出資比率は以下のとおりとなります。

出資比率（出資持分の所有割合）の変化

	（変更前）	（変更後）
荒川化学工業株式会社	60%	70%
中国広西梧州松脂股份有限公司	30%	10%
三井物産株式会社	10%	20%

3. 広西荒川化学工業有限公司の概要

- | | |
|-------------|-------------------------|
| (1) 商号 | 広西荒川化学工業有限公司 |
| (2) 代表者 | 董事長 周比銓
董事總經理 三田久成 |
| (3) 所在地 | 中国広西壮族自治区梧州市外向型工業園区 |
| (4) 設立年月日 | 平成16年6月17日 |
| (5) 主な事業の内容 | ロジンおよびロジン誘導体などの製造ならびに販売 |
| (6) 生産能力 | 約45,000トン/年 |
| (7) 決算期 | 12月31日 |
| (8) 従業員数 | 約150名 |
| (9) 主な事業所 | 本社・工場（梧州市） |
| (10) 資本の額 | 登録資本 1,200万米ドル |

以上

[参考資料]

荒川化学グループ国際展開の歩み

明治

9年11月(1876) 荒川政七が大阪市東区伏見町2丁目に生薬商を開業

昭和

6年1月(1931) 合資会社荒川商店に改組

18年11月(1943) 荒川林産化学合資会社に改称

31年9月(1956) 荒川林産化学工業株式会社に改組

42年5月(1967) 天立化学工業股份有限公司（現、台湾荒川化学工業股份有限公司）を設立

43年5月(1968) 台北駐在員事務所を開設

52年4月(1977) 荒川化学工業株式会社に改称

57年5月(1982) ARAKAWA CHEMICAL (USA) INC.を設立

平成

7年6月(1995) 梧州荒川化学工業有限公司を設立

7年7月(1995) ARAKAWA CHEMICAL (THAILAND) LTD. を設立

7年10月(1995) 香港荒川化学有限公司を設立

8年8月(1996) 廈門荒川化学工業有限公司を設立

10年11月(1998) ARAKAWA Europe GmbHを設立

15年11月(2003) 上海駐在員事務所を開設

16年4月(2004) 南通荒川化学工業有限公司を設立

16年6月(2004) 広西荒川化学工業有限公司を設立